



11年前の新潟・福島豪雨災害によって不通となっていた会津川口～只見駅間の工事が無事完了し、ついに全線運行再開となりました。

10月1日、青空が広がる好天に恵まれたなか、待望の只見線全線再開通の日を迎えました。朝8時30分、会津若松駅を訪れた私は、入場券を手に出発ホームの3番線に向かいました。

出発が行われるホームには、私と同じように臨時列車を見送ろうとする人々が溢れていました。予定されていたセレモニーの中止を告げる案内が構内に流れます。突然の出来事に事情を聴くと、6時台に駅を出た始発列車が、車両トラブルを起こし会津坂下駅を過ぎたあたりで立往生とのこと。出発式は中止は残念でしたが、親子二代で只見線に関わったという会津若松駅の東瀬駅長にご挨拶をして、只見町で行われる記念式典に出席するため駅をあとにします。

午前11時ごろ只見に到着すると、駅前には只見線全線再開通を待ち望んでいた町民や

鉄道ファンで溢れ、ステージは地元小学生による鼓笛隊の演奏などで大賑わいでした。

式典では、内堀知事、JR東日本の深澤社長が祝辞を述べ、菅家一郎衆院議員をはじめ来賓の方々の挨拶、そしてこの11年、只見線の応援団長として活動された椎名誠さん、六角精児さんに感謝状が手渡されました。

国をも動かし、鉄道軌道整備法の改正によってこぎつけた鉄道の復旧、県や市町村が施設管理の費用を負担する「上下分離方式」という方法で運転再開を果たした只見線を、奥会津地域に光を当てる地方創生路線として今後どう活用し未来へ繋いでいくのか。今を生きる我々にその使命が課せられています。

只見線が全線運行再開!!



県議会9月定例会報告

9月20日に開会した県議会9月定例会は、10月6日に最終日を迎え、一般計補正予算や条例、意見書など28件を可決しました。356億2千万円の一般会計補正予算には、原油価格・物価高等への対応費用や今年8月の豪雨災害に見舞われた会津地方への復旧費用などが盛り込まれております。

次回、12月定例会は12月6日から21日までの16日間、私は13日から14日いずれかの一般質問に答える予定となっております。



日々是好日

いま、アウトドアが熱い

コロナ禍によって、人との距離を一定程度とらなくてはならない昨今、キャンプや登山、サイクリングなどに興味を持ち楽しむ人が増えています。

かく言う私も以前からキャンプが趣味で、最近では子ども達も大きくなったため、時折ソロキャンプでゆったりとした時間を過ごして気分転換しています。

そんな中、県は会津地域の市町村とともに株式会社モンベルと包括連携協定を締結しました。その名も「人生百年時代会津・モンベル広域連携共同宣言」。

今後、相互連携を強化し、アウトドア活動等の促進を通じて地域の活性化を図ってまいります。

その他の活動報告

北海道・東北六県議員研究交流大会

8月30日、盛岡市で開催された議員研究交流大会に出席。この大会は、北海道・東北各県との連携強化、議会の活性化や活力に満ちた地域づくりに資するよう、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行うことを目的として毎年開かれています。

今年は本県を代表して15名の県議が参加。分科会と講演会の2部構成のうち、観光分野の施策に関する分科会では私が説明者となり、本県の取り組みについて発表を行いました。

東日本大震災から続く風評とのこれまでの戦い、復興半ばでの水害や再び発生した地震災害などをどう乗り越えようとしているか等様々な事例を交えながら説明を行い、ここ数年の感染症対策やこれから目指す観光の在り方について幅広く議論を交わして参りました。

今後、各道県の施策も参考にしながら、まだまだ表に出ていない会津の魅力の掘り起こしやイメージ作りブランド化など、県内観光の牽引役となるような施策を提案していきたいと考えています。



第5回

ふくしま植樹祭



9月11日、矢吹町の恩賜林内で行われたふくしま植樹祭に参加。地元で活動している緑の少年団の子も達と一緒に植樹と育樹作業を行いました。

県土の7割を森林が占める我が福島県にとって、森を育み未来を担う子どもたちへバトンを繋いでいくことはとても重要なことです。

天皇皇后両陛下をお迎えして開催した「第69回全国植樹祭ふくしま2018」から数えて5回目、こうした活動を通して自然環境の保護のみならず森林のかん養機能による土砂災害の防止効果や林業分野の振興に結びつけていきます。

県商工会連合会様との意見懇談会

9月22日、杉妻会館では福島県商工会連合会様との意見懇談会が行われました。

私は我が会派の商労文教部会長として出席し、県政に対するご要望をお受けしました。

①中小企業・小規模事業者支援対策の拡充
②原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化
③商工会における経営支援体制の充実強化

……以上3点のご要望について現在の県の施策を説明し、これからの方向性などについて協議を行いました。

事業承継などを含め、事業者の皆様様の様々な経営課題のサポートに



名君の大名文化

— 岡山池田家と会津武、その華と志 —



現在、福島県立博物館では会津の領主・藩主となった蒲生氏郷、保科正之と同時代を生きた、池田光政を藩祖とする岡山藩歴代当主の名君たちが遺した大名文化や華やかさを伝える美術品を数多く展示する企画展を12月4日まで開催中です。

観覧料は、一般・大学生が千三百円、高校生八百円、中学生以下は無料となっておりますので、是非この機会に足を運んでください。

余談ですが、私にとって池田家と言えば、映画「清須会議」で俳優の佐藤浩市さんが飄々と演じた池田恒興（光政の曾祖父）を思い起こします（笑）。

森林・林業活性化推進協議会議員連盟

10月7日、令和5年度当初予算編成に向け、超党派でつくる議員連盟の役員7名で知事要望を行いました。

本県の林業を成長産業に導いて参ります。



議会ICT化検討会

10月5日、委員として出席した議会ICT化検討会では、いよいよ議会でのタブレット利用に向け、まずは検討会のメンバーからと先行して導入されました。

単なるペーパーレス化に留まらず、議論の有効なツールとして活用していきます。

今後の主な予定

【10月26・28日】

第13回Japan

IT Week

【11月1日】戸ノ口堰

土地改良区五穀豊穡祭

【2日】林活議員連盟

県内調査

【7・9日】特別委員会

会内調査

【10日】政務調査会

【11日】会津若松商

団地協同組合創立30

周年記念式典

【14・16日】会派県

外調査

【17日】知事申し入れ

編集後記

只見線の再開通イベントや式典は、どれも感慨深いものでした。国会議員の秘書時代を含め県議となつてからも見続けた11年間の道のりは決して平坦なものではなく、本県様々の方の意思と力によって成し遂げた事業です。これからがスタート。一過性の盛り上がり終わらせることなく、全国の赤字ローカル鉄道の希望となるようにしていきます。